



ご当地 **お坊さん** 茨城

茨 歯 会 報

No.612

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

July
2020
令和2年

7



Contents

デンタルアイ	1
飯島 清人	
理事会報告	4
会務日誌	7
地区歯科医師会だより	9
荒野 太一	
ピンクのエプロン	13
佐藤 絵理	

表紙写真について

自粛中に自宅周辺から撮影しました
これを機に家庭菜園をはじめました。
(社) 茨城県つくば歯科医師会 坂入 正彦

新型コロナウイルス 感染症について



理事
飯 島 清 人

刻々変化する状況

前月号で掲載済みかもしれませんが復習をかねてコロナ禍について。1月初旬から拡大しはじめ（厳密には前年末頃から）、3月～4月に1つめのピークを迎え、5月末に緊急事態宣言は解除されたものの「新型コロナウイルス感染症」は6月下旬でも小規模クラスターを含め散発し、茨城県でも6月20日には新規感染者が出ており、宣言解除による通常社会への早期復帰も重要なが、第2波への警戒を怠るわけにはいきません。

当初、新型コロナウイルスとは何者なのか、また従来の感染症とは何が異なるのかという原因究明とこれらに対する感染防止対策が両輪となり連日のように情報が発信・放送されていました。しかし未知のウイルスであるため手探りに近い状態で対応せざるを得ませんでした。情報は数日単位あるいは週単位で頻繁に更新され、かつ行政（官庁・県・大学等）がそれぞれ情報発信を行うことで、内容確認（共通点と差違点）が必要となる状況も多々見られました。また過剰に情報が溢れた場合は、取捨選択が求められます。現在も情報更新と視認性向上のため、行政等のHPもリンク先が切り替わっているため頻繁な確認は必要です。

感染予防に関する現状

PCR検査、3密、37.5℃、換気、ソーシャルディスタンス、不要不急、空気感染、飛沫感染、エアロゾル感染、接触感染、マスク、ゴーグル、フェイスガード、防護服、消毒用アルコール、次亜塩素酸水等々、連日テレビやネットを賑わしている言葉です。

1月末にマスクの品薄状態に拍車がかかり、消毒用アルコール（無水エタノール含む）も追うように品薄になりました。無水エタノールの希釈用なのか精製水も連鎖的に品薄になり、我々の業務に支障をきたし始めたのがこの時期です。

少々遅れて『エアロゾル感染』も指摘されフェイスガードやゴーグルの『必須性』が加わりました。

歯科医療の特殊性

歯科医療では、昭和の時代から回転切削機器が発生させるエアロゾルの拡散問題は既に指摘されており、口腔外バキュームも普及が図られつつあり、歯科医療機関においても混乱することはないと思います。

しかし、感染防止に欠かせない消毒用アルコール、マスクやフェイスガードの不足は大問

題でした。一般社会で言われるソーシャルディスタンスは約2m、対面は避け、必要ならばマスクを着用して短時間に抑えるよう繰り返し放送・発信されていますが、当然ながら歯科診療では成立しません。不要不急でも決してないはずです。

結果として、受診者数の制限（待合室人数制限含む）、診療日数や診療時間の短縮、スタッフの自宅待機等々も実施せざるを得ない状況になった歯科医院もありました。

このような状況の中、全国の酒造メーカーによる医療機関向けエタノールの優先配給の協力・支援を頂き当面のアルコール不足は大きく解消することができたことは感謝しかありません。

またマスクについても一定量の供給があり徐々にですが店頭でも購入できるようになりました。

フェイスガードについても自作以外にも行政等からの配給も行われ一定の範囲ですが診療に支障をきたさない状況となりました。ネット通販でも適正価格・比較的潤沢な商品が流通するようになったことも改善要因となりました。

これから梅雨の時期になり、また暑い夏を控え、1時間に5～10分の換気に関しては今後も配慮が必要ですが、歯科医療機関としては感染予防に関する基本要件は満たせたものと考えます。

新型コロナウイルス感染がここまで大きな影響・不安要因となるのは、治療薬&ワクチンがまだ登場していない点に尽きます。候補は多々挙がっていますが、まだ決定打が登場していないため『感染したら…どうしたらいいのか』が確立していない現在、我々は第2波に十分警戒し、診療に取り組まなければなりません。

経済活動再開に向けた対策の段階的緩和

6月18日現在、茨城県の感染対策については、茨城版コロナNext『stage1』にあり、県HPには以下の様に掲載されています。

【stage1：感染が抑制できている状態】

- ・陽性者数
 - ・県内増加（1人／日以下）
 - ・都内経路不明（10人／日以下・週平均）
 - ・重症病床稼働率10%以下
 - ・病床稼働率30%以下（週平均）
- ・外出自粛
 - 一般の方
 - 高齢者等
 - 平日昼間
 - 週末・夜間
 - 県外
（東京圏&北海道との間の移動は慎重に）
- ・イベント
 - ガイドラインに基づき開催
- ・休業要請
 - 行わないが新たな日常ルールの徹底
- ・学校再開
 - 通常登校
 - 通常授業
 - 部活動
（他県との練習試合、合宿等については、感染状況や競技の特性を踏まえて判断）
 - 給食
（特別支援学校は分散登校から段階的に。市町村立学校も同様の対応）

ただし、

◎医療施設、高齢者施設、障害者施設は最大級の嚴重な対策を維持。

経済活動再開に向けた公的対策

業種によって各種ガイドラインが提示される中、歯科に関しても事業資金を含む各種情報が発信されています。一例ですが、

- ・首相官邸
- ・内閣官房
- ・厚生労働省
- ・経済産業省／中小企業庁
- ・独立行政法人福祉医療機構
- ・日本政策金融公庫

茨城県からも

- ・中小企業向け融資制度
- ・新型コロナウイルス感染症中小企業支援対策室

等について、ネット接続が可能な方は一度アクセスしてみてください。

株式会社岩瀬歯科商会

昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で90年目を迎えます。皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。

イワセオリジナルユニット

**SIGNO
NEXT**

こだわりと好みをひとつずつ反映しながら、ワンランク上のラグジュアリー空間と心地よさを演出します。

■ 社名
株式会社岩瀬歯科商会
■ 代表取締役
岩瀬 浩二
■ 本社
〒227-8500 東京都大田区東大田 2-15-1
■ 電話
03-3761-0000

製造販売・製造
株式会社モリタ東京製作所
本社 埼玉県さいたま市中央区上落合 2-1-24 TEL 048-880-1315
伊勢工場 埼玉県北足利郡伊勢町小室 7129 TEL 048-723-2021

発売
株式会社モリタ
大阪本社 大阪府大阪市東淀川区 3-33-18 TEL 06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野 2-11-15 TEL 03-3834-6161

事業所案内

本社	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊北4-14-11	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL:045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	TEL:045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL:027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770



この事業所は、イワセ歯科商会のイワセオリジナルユニットです。

理事会報告

第2回理事会

日 時 令和2年5月21日（木）16時
場 所 茨城県歯科医師会館会議室（Web会議）
報告者 柴岡 永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 連盟報告

4. 報 告

(1) 一般会務報告

(2) 退会について

(3) 開業予定の歯科医院について

(4) 疾病共済の支払いについて

日立地区 1名 32日間

珂北地区 1名 46日間

(5) 令和元年度茨城歯科専門学校 学校関係者 評価報告書について

(6) 第41回全国歯科保健大会の中止について

(7) 第71回関東甲信越静学校保健大会の中止に ついて

(8) 県内学校歯科検診状況について

(9) 新型コロナウイルス感染症の影響に関する アンケート結果について

(10) 委員会報告

医療管理委員会、地域保健委員会、学校歯
科委員会、社会保険委員会、専門学校

5. 協議事項

(1) 入会申込みの受理について

桑原敦子先生 つくば地区 1種

鶴見大歯卒 承認

山城拓也先生 つくば地区 2種

奥羽大歯卒 承認

河地 誉先生 県南地区 1種

東歯大歯卒 承認

荒川勇斗先生 県西地区 2種

日大松戸卒 承認

(2) 第168回定時代議員会について

新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、具体的な
進行に関しては日歯方式を参考にしながら議
運で検討する

(3) 令和元年度備品の廃棄処分について 承認

(4) Web会議に出席した会員に支払う費用につ いて 承認

(5) 平成31（2019）年度茨城県心身障害者 (児) 歯科診療所運営費補助金実績報告書 (案) について 承認

(6) 学術委員会委員の変更願について【つくば
歯科医師会】

承認

(7) 第21回公開講座事業への後援と補助につい
て【土浦石岡歯科医師会】

承認

(8) 第72回関東甲信越静学校保健大会並びに歯
科職域部会の開催について

開催の方向で鶴屋理事（学校歯科担当）に
一任

(9) その他

アルコール配布の順序について

茨歯会アンケートの回答内容を元に配布順
序を決める。

○行事予定について

6月4日（木）15時から 議事運営特別委員会

16時から 第3回理事会

6月24日（水）14時から 第168回定時代議員会

7月9日（木）16時から 第4回理事会

第3回理事会

日 時 令和2年6月4日（木）16時

場 所 茨城県歯科医師会館会議室（Web会議）

報告者 柴岡 永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 代議員会議長、副議長挨拶

4. 連盟報告

5. 報 告

(1) 一般会務報告

(2) 退会について

(3) 開業予定の歯科医院について

(4) 疾病共済金の支払について

鹿行地区 1名 34日間

県南地区 1名 50日間

(5) 新型コロナウイルス感染症に関連する歯科
の重要性の広報活動について

(6) 新型コロナウイルス感染症の影響について

(7) 新型コロナウイルス感染症に関連するアン
ケート結果について

(8) 特定アルコールの発送状況について

(9) 各委員会報告について

学術委員会、広報委員会、地域保健委員会

6. 協議事項

(1) 第168回定時代議員会事前質問の取扱いに
ついて

議運の決定事項を確認

(2) 学校歯科健診における注意事項について

茨城県歯科医師会の作成案で承認

(3) 学校における給食後の歯みがきについて
茨城県歯科医師会の作成案で承認

(4) 乳幼児健康診査個別実施支援事業（令和2
年度第二次補正予算）
地区会長へ通達することで承認

(5) 諸規定の名称変更（案）について
承認

(6) 茨城県歯科医師会親善地区対抗ゴルフ大会
と茨城県歯科医師会地区対抗ソフトボール大
会について
両大会とも中止で承認

(7) 茨城県歯科医師会と茨城県保健福祉部との
協議会について
要望書提出、回答を頂くことで承認

(8) その他

○行事予定について

6月24日（水）14時から 第168回定時代議員会

7月9日（木）16時から 第4回理事会

会務日誌

- 5月21日 第1回備品・消耗品監査を執行。土浦センターと茨歯会館にて、土地、建物、備品、消耗品の管理保管並びに整備状況について監査を行った。
出席者 鈴木監事ほか7名
- 5月21日 第1回業務会計監査を執行。業務並びに制度に関する監査（2月1日～3月31日）、会計に関する監査（令和元年度収支決算）を行った。
出席者 鈴木監事ほか7名
- 5月21日 第2回理事会をWEB会議として開催。入会申込みの受理、第168回定時代議員会、令和元年度備品の廃棄処分、Web会議に出席した会員に支払う費用、平成31（2019）年度茨城県心身障害者（児）歯科診療所運営費補助金実績報告書（案）、学術委員会委員の変更願について【つくば歯科医師会】、第21回公開講座事業への後援と補助について【土浦石岡歯科医師会】、第72回関東甲信越静学校保健大会並びに歯科職域部会の開催について協議を行った。
出席者 森永会長ほか18名
- 5月21日 第1回広報委員会をWEB会議として開催。会報6月号の校正、日本原電からの原稿依頼の承認、広報座談会、表紙写真担当の決定、次号会報7月号について協議を行った。
出席者 柴岡広報部長ほか10名
- 5月26日 新型コロナウイルス感染症対策に係る四師会との意見交換会が県庁舎にて開催され、院内感染対策・クラスター対策、検査体制の拡充、地域外来・検査センターの拡大、宿泊療養運営、第二波への備え等について意見交換が行われた。
出席者 森永会長ほか1名
- 5月28日 第15回日本歯科医師会理事会がWEB会議として開催され、時局対策ほかについて協議が行われた。
出席者 森永日歯代議員会議長ほか1名
- 5月29日 都道府県会長会議がWEB会議として開催され、日歯より各都道府県歯科医師会にライブ配信された。
出席者 森永会長ほか1名（茨歯会館にて受信）
- 5月29日 第2回日歯議事運営特別委員会正副委員長打合せ会がWEB会議として日歯と該当歯科医師会間（4県）で行われ、6月12日開催の第3回議事運営特別委員会の運営ほかについて協議が行われた。
出席者 森永日歯代議員会議長（茨歯会館にて受信）
- 5月29日 第4回県新型コロナウイルス感染症対策協議会がWEB会議として開催され、これまでの新型コロナウイルス感染症対策の振り返りについて協議が行われた。
出席者 森永会長（茨歯会館にて受信）

5月29日 第1回学術委員会をWEB会議として開催。第29回茨城県歯科医学会演題募集、シンポジウム、栃木県歯科医学会、有病者歯科医療実践のためのスキルアップセミナーの開催、がん医科歯科連携講習会、日歯生涯研修セミナー、県民フォーラム開催について協議を行った。

出席者 今湊学術部長ほか10名

鹿行歯科医師会学術講演会

「オールセラミッククラウン、 CAD/CAM冠臨床の勘所 メタルボンド？オールセラミッククラウン？ どう使い分けますか？」



講師：東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座 主任教授

佐藤 亨 先生

(社)鹿行歯科医師会 学術委員 荒野 太一

令和2年1月25日（土）サンロード鹿島にて鹿行地区学術講演会が行われました。今回は、東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座主任教授の佐藤亨先生をお迎えして講演をいただきました。

今回の講演は、近年、様々な技術の進歩発展により臨床応用が可能となったオールセラミッククラウン・ブリッジ、保険診療でのメタルフリー修復を可能にしたCAD/CAM冠などに関して、その特徴と、我々開業医が知っておくべき臨床の注意点を、先生の臨床例とともに分かりやすくまとめて、お話しいただきました。

以下に概要を報告します。

1、現在の国家試験、学生教育について

- ・メタルフリー修復に関する出題が増えている。
- ・問題は製作手順に関するものから、臨床の手技に関するものまで多岐にわたっている。
- ・各々の製作方法、材料学的な特徴をしっかり理解していないと正解できない問題が増えている。
- ・学生はコンピューター上でクラウンを設計する

実習なども行っている。

2、全部被覆冠の分類（図1）

- ・CAD/CAMの登場により、金属も削り出しが可能になったため以前と名称が変わっている。
- ・オールセラミッククラウンの中で単一の材料で作製するものをジャケットタイプとする。
- ・オールセラミッククラウンの中でセラミックフレームにセラミックを前装するものを前装タイプ

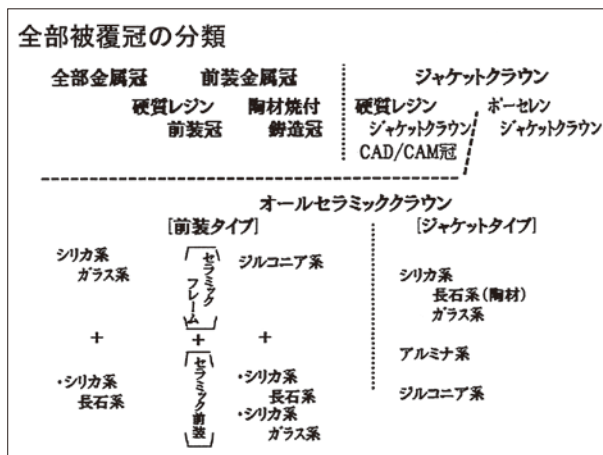


図1

プとする。

- ・オールセラミッククラウンを技工所に発注する際にどの材料の組み合わせ、もしくは単体で作製するのかをしっかりと決めてオーダーすることが重要である。

3、セラミックの分類（図2）

- ・シリカ系セラミックス、アルミナ系セラミックス、ジルコニア系セラミックスの3つに分類される。
- ・シリカ系セラミックスは長石系セラミックス（陶材）と二ケイ酸リチウム系（ガラス）セラミックスに分類される。
- ・シリカ系、アルミナ系、ジルコニア系では接着操作に違いが出てくるのでしっかりと分類して覚えておくことが重要。
- ・陶材は120MPa、ガラスは500MPa、ジルコニア系は1000MPaの強度がある。
- ・以前と比較して、ガラスセラミックの強度が上がっているので小臼歯までであれば、割れることなく使用することができるようになった。
- ・臼歯部ブリッジや、ブラキサーなどにはジルコニアが適応である。

セラミックスの分類

1. シリカ系セラミックス
 - a) 長石系セラミックス(陶材)
 - 築盛・焼成法
 - CAD/CAM法
 - b) ニケイ酸リチウム系セラミックス
 - CAD/CAM法
 - 加熱加圧(ヒートプレス)法
2. アルミナ系セラミックス
 - CAD/CAM法
3. ジルコニア系セラミックス
 - CAD/CAM法

図2

4、CAD/CAM冠（保険適応）について

- ・利点としてはメタルフリー、ガラスセラミックより破折しにくい、安定した品質、トレサビリティの確保といった点が挙げられる。
- ・欠点としては適応の限界、再製の費用負担、長期の予後が不明といった点が挙げられる。

- ・補助的保持形態の付与が困難であるため、保持力を得るために十分な歯冠高径があり、対合歯との適切なクリアランスが確保できることが重要である。
- ・支台歯形成の注意点は、滑沢かつ単純な形態で隅角に丸みをもたせる、円滑で明確なマージンラインを出すなど、オールセラミックスとほぼ変わらないが、クリアランスをしっかりと確保することが重要となる。
- ・大臼歯では中央小窩の部分が薄くなりやすいのでクリアランスに注意する。
- ・咬頭の傾斜は緩やかにした方が割れにくい。

5、セラミックインレーについて

- ・外形はなだらかな曲線で、リバースカーブを付与し、対合歯接触点を避ける。
- ・内面部はラインアングルをつけないようにして、隣接面は垂直圧を受ける面を作るためにボックス形成を行う。
- ・裏装をする場合はコンポジットレジンで行う。
- ・レジンセメントで接着をしっかりと行い、歯と一体化する。

6、保険収載されたレジンコーティングについて

- ・現在認められているコーティング剤は、ハイブリッドコートⅡ（サンメディカル株式会社）のみである。
- ・未重合層の残存が印象体の面あれの原因になることがあるので、しっかりとアルコール綿球で除去する。
- ・プロビジョナルクラウン製作時には、コーティング面と常温重合レジンが接着する可能性があるため、水溶性分離剤を使用する。ココアバターのような分離剤は、補綴装置の接着に影響するので好ましくない。
- ・仮着セメントの除去は、音波ブラシや回転ブラシでの除去が好ましい。超音波スケーラーなど

は、コーティング層を破壊する可能性があるの
で好ましくない。

7、オールセラミックスブリッジ、オールセラミックスクラウンについて

- ・ジルコニアブリッジに関しては、連結部の面積（9mm²以上）をしっかりとらないと割れる可能性がある。対合歯が挺出している症例は注意が必要。垂直的な圧に耐える形態が重要である。
- ・ガラスセラミックスブリッジは、前歯適応になっているがあまりオススメしない。
- ・以前は前装陶材がチッピングしてきたが、フレームワークに抵抗形態を付与することで少なくなってきた。
- ・咬合面はジルコニアで頬面のみ陶材で前装するなどの工夫で審美性と耐久性に優れた補綴装置ができる。
- ・ジルコニアはしっかり研磨することで、陶材と比較して対合歯を摩耗しない。そのため、しっかり咬合調整をしないと対合歯の過重負担になるので注意が必要。
- ・透明性の高いジルコニアは強度は弱くなる（550MPa）ので注意が必要。
- ・咬合調整は咀嚼運動経路での調整を必ず行う。

8、オールセラミッククラウン、CAD/CAM冠の接着

- ・シリカ系長石系の接着はサンドブラスト、リン酸洗浄、シラン処理、接着の順で行う。
- ・シリカ系ガラス系の接着は接着阻害因子の除去（イボクリーン、カタナクリーンなど）、シラン処理、接着の順で行う。
- ・ジルコニア系、アルミナ系の接着はサンドブラスト、ジルコニア用プライマー、接着の手順で行う。リン酸洗浄は行わない。
- ・CAD/CAM冠の接着はサンドブラスト、水洗（リン酸処理）、シラン処理、接着の手順で行う。

9、メタルボンド？オールセラミッククラウン？

佐藤亨の臨床【私見】（図3）

- ・インレーは、ほぼガラスを選択している。しっかりと接着を行い、歯と一体化することが必要。
- ・ブリッジは、ジルコニア単体を選択することが多い。大臼歯はステイニング。前歯、小臼歯は唇側前装を行う。
- ・ロングスパンのブリッジに色素を入れたジルコニアを選択すると歪む可能性があるので注意が必要。
- ・今後は、ジルコニアの接着性ブリッジも増えてくると思われる。
- ・大臼歯の単冠は、ジルコニア単体にステイニングを選択する人が多い。
- ・小臼歯の単冠は、ガラス単体にステイニングを選択する人が多い。
- ・上顎前歯の単冠は、ガラスにポーセレン前装を選択する人が多い。
- ・下顎前歯の単冠は、ガラス単体にステイニングを選択する人が多い。
- ・上顎前歯において、歯が薄い、オーバーバイトが大きい、オーバージェットが小さいなどの場合はメタルボンドを選択する。
- ・前歯、臼歯において支台築造がメタルコア、保持力が少ない支台歯形態、アタッチメントやミリングテクニックを使用する場合にはメタルボンドを選択する。
- ・CAD/CAM冠は、小臼歯では割れることはほとんどないが大臼歯では割れるケースがあるので

* オールセラミッククラウンの適応の基本は生活歯、レジンコア *

クラウン		前歯		小臼歯	大臼歯	インレー	ブリッジ
		上顎	下顎				
陶材焼付金属冠						×	
長石系（ポーセレン）	ラミネートベニア	●	●	●		△	×
ガラス系（ガラスセラミックス）	単体	△	○	○	△	○	×
	ポーセレン前装	○		△		×	×
ジルコニアセラミックス	単体	▲		▲	○		○
	ポーセレン前装					×	
	ガラス前装					×	
CAD/CAM冠		×		○	×	×	×

図3

注意が必要である。

- ・ 大臼歯CAD/CAM冠修復では、咬合面やマージン部の厚みの確保、過度な側方力のかからない形態や咬合調整、咬合力の強い人は避けるといったことがポイントとなる。

以上が今回の講演の概要となります。2時間という限られた時間の中で、メタルフリー修復の基礎的な知識から、先生の実際の臨床経験から得られた細かなテクニックや考え方まで、多くのことを教えていただいた貴重な講演会となりました。

講演会後に行われた新年会でも、佐藤先生との活発な質疑応答が行われ、会員の今後の診療に大変意義のある時間となりました。

最後に、お忙しい中、貴重な講演をしていただいた佐藤先生に感謝の意を表しまして、学術講演会の報告とさせていただきます。





〒310-0911 茨城県水戸市見和2-292
 公益社団法人
茨城県歯科衛生士会
 TEL・FAX 029-253-5807
<https://ibaraki.jdha.or.jp>
 E-mail jimu@ibaraki-dh.net

(公社)茨城県歯科衛生士会 県南支部 佐藤 絵理

口腔センターに勤務してから約9ヶ月が経ちました。以前から障害者歯科に興味があり、いつかは関わりたいと思っていたので新しく学ぶ事も多く毎日がとても充実しています。

口腔センター土浦は二次医療機関として地域の歯科医療機関で対応が困難な障害のある方を対象に、治療や口腔衛生管理、摂食指導などを行っています。また、障害の有無に関わらず、歯科恐怖症や嘔吐反射を有する方、歯科治療が受容出来ない小児も対応しています。トレーニングをしても受容出来ず歯科治療が安全に出来ない場合は、静脈内鎮静法を用いての治療になることがあります。また、今年の2月からは日帰り全身麻酔も始まり治療の選択肢が広がりました。

多くの患者さんは、様々な障害や過敏などによる拒否によって毎日の口腔ケアが難しくう蝕や歯周病が重症化しやすい場合があります、継続的な口腔衛生管理が必要になります。その為、日常の様子、生活習慣などをしっかりと聞き取り患者さんをより深く知ることが指導していく上でとても大切な事だと感じています。

来院時に入室が出来なかった患者さんも、何度も繰り返しトレーニングをする事でユニットに座れるようになり、治療を受けられるようになる事

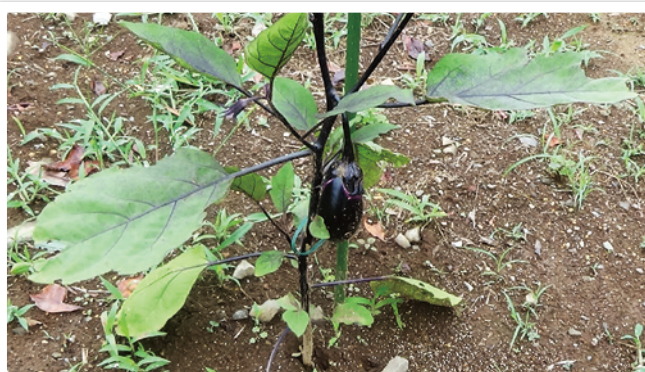


は、本人の喜びにも繋がり私自身もとても嬉しく思います。今までに経験がなかった様々な障害の患者さんへの対応を先生方や先輩歯科衛生士の方々に一つ一つ丁寧に指導して頂き、今は少しずつ対応出来るようになりました。

これからも常に患者さんに寄り添い、安全に診療補助が行えるように、日々努力していきたいと思っています。

みんなの写真館

Photo
Gallery



(社)茨城県つくば歯科医師会 坂入 正彦

会 員 数

令和2年5月31日現在

地 区	会員数(前月比)
日 立	115
珂 北	148
水 戸	156
東西茨城	73
鹿 行	103
土浦石岡	179
つ く ば	134
県 南	173 -1
県 西	154 -1
西 南	106 +1
準 会 員	4
計	1,345 -1

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員	1,150名
2種会員	71名
終身会員	120名
準 会 員	4名
合 計	1,345名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和2年7月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進

編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。